

# 学力向上対策室より



## 町長も道徳授業体験！！



道徳授業参加者の  
池田町長も発表し  
ていました



葉山小学校 6年生の道徳の時間「片岡兄弟」の授業のようす

参加することで、改めて道徳教育の重要性について考えることができます。

人として、当たり前大切にしてほしい「道徳性」を身に付けるにはどうすればいいか、一緒に考えていきましょう。 **10月30日は、「道徳フォーラム」を開催します。** 詳細は9月号でお知らせします。



## 「ダメ」がわかるということは「社会性」を身につける第一歩

下記の枠内の抜粋内容は、「子どものサインがわかる本」（塩川宏郷監修 主婦の友社発行）の中の『2歳までに気づいてほしいサイン～ダメという言葉が理解できない～、～言葉を覚えない、話さない～』という項の内容です。子どもを取り巻くおとなの私たちの接し方ひとつで能力の身に付き具合が変わってくるということを認識して子どもに接していきたいですね。

「ダメ」ということを理解するということは、社会にはルールがあるということを理解することでもあります。つまり、「ダメ」がわかるということは「社会性」を身につける第一歩でもあるのです。ダメと言われても平気でその行動を繰り返す場合は、「社会性の未熟さ」を示すサインということになります。

ただ「ダメ」というだけでは、子どもはどうしていいかわからないこともありますので、具体的にどうすればよいかを1つずつゆっくり丁寧にお手本を示しながら覚えさせるようにしましょう。

ルールを覚えさせるときに、大声を出したり体罰を加えたりすることは誤りです。まったく効果がないばかりか、好ましくない行動をエスカレートさせてしまうこともあります。

子どもは、言葉を覚える前に「言葉を使わなくても相手に自分の気持ちが伝わった」あるいは「相手の気持ちがわかった」という体験を積む必要があります。それは、たとえば一緒に遊んでいて楽しい、きれいな花を見て一緒にきれいだと感じる、というような体験を指します。

子どもと一緒に何かをすること（体験を共有すること）を通じ、ふとした瞬間に気持ちが通じ合った、一緒に笑った、一緒に泣いた、そのような「感情を共有する体験」からコミュニケーションがスタートすると考えられています。つまり、言葉を覚えるためには体験を共有し、感情を共有する体験を積む必要があるということです。



## 「津野っ子標語」への応募をありがとうございました。

9月号で、「町長賞」「教育長賞」「道徳教育推進地区協議会長賞」「優秀賞」を発表します。

## 7月12日（火）、葉山小学校研究協議会がありました。

関連記事を「お知らせです」にまとめたので回覧します。ぜひ、ご覧ください。